

平成28年6月23日(木)

西高ニュース 第84号	県立伊丹西高等学校 住所：伊丹市奥畑3丁目5番地 TEL：072-777-3711 FAX：072-777-3712 HP：http://www.hyogo-c.ed.jp/~itaminishi-hs
高 校訓 克己、協調、創造	

陸上競技部 近畿大会出場!

祝 兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会 優勝 男子100m 秋鹿 翔

祝 近畿大会出場 4×100mR 森田 健斗 秋鹿 翔 今井 大輝 中尾 太一

6月16日(木)~17日(金)神戸ユニバー記念競技場で近畿大会が行われました。結果は、100m 予選 10" 93、準決勝 10" 89 で準決勝敗退、4×100mR は予選 42" 37、準決勝 42" 66、準決勝敗退でした。

出場した陸上競技部の4名にインタビューしました。

男子 100m 出場

<秋鹿くん> 100m は 100 分の 2 秒差で決勝を逃したので悔しいです。楽しんで走ろうと思ったけれど、周りに速い人が多かったのが鬼気迫る感じで走ったので、楽しめませんでした。

4×100mR 出場

<一走 森田くん> 緊張はなく、「楽しい」が勝ちました。準決勝では良いスタートが切れました。無我夢中で知らない間に二走の秋鹿くんが走っている感じでした。

<二走 秋鹿くん> 土砂降りの雨だったので、バトンをもらう時も走る時も滑りました。気がついたらバトンが落ちそうでした。

<三走 今井くん> 走る前、「楽しんで走ろう」と思いました。バトンを(秋鹿くんから)もらった時、「行け!」と叫んでくれてモチベーションがあがりました。

<四走 中尾くん> 一走から三走まで見ていました。森田くんは良いスタートを切り、秋鹿くんがいっぱい抜いてくれました。今井くんはいつも通りの走りをして、「行け!」と言ってバトンを渡してくれました。3人分のグツというバトンの重みを感じました。走る前は「抜かれたらどうしよう」と思っていたのですが、近畿(大会)までくると、「楽しもう」と思って走りました。予選の時は3位でゴールしたのでほっとしました。

大舞台での大役を果たした清々しい笑顔が印象的でした。本当にお疲れ様でした!

稲野小学校 土曜学習教室

6月11日(土) 昆陽センターで開かれた稲野小学校の土曜学習教室「いなの」に、3年生の道林唯斗さんと山口航希くんが参加しました。2人の手記を紹介します。

<道林くん> いなの学級で私たちは3年生を担当し、自習の手伝いと、一緒に紙飛行機を折って遊びました。自習では、みんな宿題だったり自習課題をして、一生懸命がんばっていました。答えが分からない所を教えてあげようとする、(土曜教室担当の)加治先生に「こういうのを教える時は、ヒントを出して教えてあげるんだよ」と言われ、ヒントを教えると子どもたちも解けて、とても勉強になりました。

<山口くん> 僕は昨年の12月中旬に花里小学校土曜教育に行ったので、土曜教室は2回目でした。でも場所が違うというのでとても緊張しました。まず、着いてから道林くんと軽い説明をうけて、子供達が自習をしている部屋に行きました。僕達は首から自分の名字が書かれた名札をぶらさげていたので、みんなはすぐに名前を呼んでくれました。1人僕と同じ「山口」という女の子が「同じだ」と言ってずっと僕の後をついてきました。他にも、ひたすらノートに野球選手の名前を書いている男の子や、折り紙でカメラを折ってくれて僕にくれた女の子や、「20歳?」などと年齢を当ててきた男の子達、「友達になって?」と言ってくれた男の子、みんながみんな違った対応してくれたので楽しかったです。また次の土曜学習にも参加してみたいです。



ALT Timothy John Gibson 先生

昨年8月に本校に赴任された外国人指導助手(ALT) ジョン先生の手記を紹介します。

My name is John Gibson, I'm 25 years old, and I'm the ALT here at Itami Nishi High School. Even though I came from New Zealand last August, it still feels like I have just arrived.

I have done many things in Japan. I have skied in Gifu, visited the art museums on Naoshima and Teshima, been to a 'hanami' in Yoshino, tried a sake festival in Hiroshima, visited the onsens at Yumura, and been to the shrines at Inari Fushimi and Miyajima.

But time has passed very quickly. It seems like only yesterday that I left the cold weather of Auckland, New Zealand's capital. I woke up early in the morning, while the sky was still dark, got on a plane, and arrived twelve hours later in the hot Tokyo sunshine. I met many other ALTs like me, from many different countries. We talked about our expectations and hopes for our time in Japan. At the ALT meeting, we were told that it might take a whole year to get used to Japan.

Well, almost a year has passed, and I still think I am not used to Japan completely. There have been many surprising things and many challenging things. Communication is often a big problem. Things which are usually easy, for example shopping or visiting the doctor, become difficult because of the language.

However, people around me are very kind and supportive. The staff here at Itami Nishi help me when I have problems, and the teachers are friendly even though my Japanese is not good. Itami Nishi's students are also very friendly and kind. I'm greeted by smiles and hellos everywhere I go. I like visiting the clubs after school, and I'm surprised by how talented the students are.

Even though there are challenges, and the time will pass quickly, I'm looking forward to my next year here at Itami Nishi, and I hope that these good experiences continue.



